

地域とともにある学校

コミュニティ・スクールだより

《第2回学校運営協議会》

10月24日第2回学校運営協議会を開催しました。

今回の協議会では、「学校評価」の中間評価の報告と質疑を行いました。

また、今回初めて「熟議」を行いました。10人の委員の皆さんに3～4人の小グループに分かれて頂き、20分程度「地域の子どもたち」についての「意見交換」をしていただきました。協議の柱は、「本校児童の良さや課題」「地域としてどのような子どもに育てたいか」についてです。

以下は、3つのグループのまとめです。

＜ 児童の「良さ」や「課題」について ＞

(1) 「あいさつ」について

(委員の方々は、登下校に見守り活動をしている方が多い。その中での気づき)

- あいさつをする子もいれば、しない子もいる。保護者の方も「あいさつ」について「しなさい」と言われている家庭とそれほどでもない家庭の違いもあると思う。
- 交通班の班長さんが率先して「あいさつ」してくれる班長の班はしているように思う。上級生の姿勢は手本になる。
- 子どもたちから「あいさつ」が返ってくると、ボランティアの私たちもうれしい。
- 「東広島スタンダード」の徹底を図ってほしい。とりわけ挨拶、返事など人として「当たり前なこと」が「当たり前」にできる」ように徹底を。

(2) 児童の「安全・安心」について

- この地域は、地域の方々（見守りも含め）児童の安全を気にかけてくれている。
- 登校班によって、ばらばらになっている班、まとまっている班などがあり心配。
- 保護者も一緒に登校されている姿がある。大切なことだ。
- 交通班での上級生と下級生の関係が良い。地域ボランティアが見守っているという影響もあると思う。

(3) SNSによるトラブルについて

- 中学になると「いじめ」につながるトラブルが多い。スマホ漬け、スマホ生活になっているのではないか。既に小学校以前からスマホなどを子守替わりにしている状況もある。

「良さ」「課題」ともに、「あいさつ」や「安全・安心」が話題に上りました。どちらも児童にとって大切だという気持ちです。また、児童の安全は「保護者・地域のまとまり」「子ども同士の良い関係」が大前提であるという思いには同感です。「あいさつ」も「安全・安心」も地域の協力なしでは児童への定着が難しいことが改めてわかりました。

《第2学年 町たんけん》

2年生が校区の「町たんけん」をしました。
今年度は、新たな見学場所を開拓しようと、これまでの「消防署」や「西条緑化造園」に加え「創建ホーム」「マクドナルド」「スターバックス」「タニタ」を加え、全6か所を大きく2グループに分けて「たんけん」しました。

児童は、自分たちが住んでいる町に、様々な「お店」や「会社」があることを知り、自分たちの生活を豊かにしたり、便利にしたりしていることに気付きました。

どの事業所も「見学」について快く引き受けてくださいました。「お店」「事業所」の皆様が「児童」の存在を改めて気にかけていただき、「児童を共に育てる」気持ちを高めて頂ければ幸いです。

今回の見学では、どの「店」「会社」からも「永くこの地域で愛される存在になりたい」という思いが伝わってくる大変丁寧な対応でした。

改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



《6年生 わが町の未来》

6年生国語「東広島市の幸せな未来をえがき、目指す町の姿について考えたことをプレゼンテーションしよう」の発表会を11月21日（火）24（金）に行いました。

審査員として岡田育三市議会議員様 増田泰二学校地域共同活動推進員様 本校校長、コミュニティ・スクール推進員の4名が担当しました。

6年生は、4名から5名のグループに分かれ、調査活動や発表に向けた準備など協力して町の未来について発表を行いました。「古民家の再生」「ごみを減らすボランティア」「誰でも楽しめる酒蔵料理」など、児童が独自に考えたことは、大人から見たら実現が可能な内容もありましたが、むしろそこが大切なのではないかと考えさせられました。

優秀作品は、市の「ICT コンペ(プレゼンテーション部門)」に応募することとしています。



《5・6年 ダイソー女子駅伝部 陸上教室》

14日（火）昨年に続きダイソー女子駅伝部の岩本監督を含め11名の方々が「陸上教室」を実施してくださいました。準備運動から早く長く走る「コツ」まで丁寧に指導して頂きました。また、児童からの質問にも答えて頂くなど「走ることが好き」ということが笑顔や話から伝わってくる選手の方々でした。

ダイソー本社は校区にあり、また、女子駅伝部の寮も円城寺にあり、本校と深い関わりのある企業です。持久走大会の日にもご指導をお願いしています。

